

「徳島 木のおもちゃ美術館（仮称）」基本構想の骨子について

「徳島 木のおもちゃ美術館（仮称）」を整備するにあたり、「徳島ならではの」施設とするための「専門タスクフォース」において検討いただいていたところ、去る11月29日に「基本構想策定に向けた意見書（中間とりまとめ）」が提出されました。

この意見書を踏まえ、「徳島 木のおもちゃ美術館（仮称）」基本構想の骨子として、次のとおり取りまとめました。

1 基本コンセプト

以下の5つの空間が融合する施設

- ①赤ちゃんから高齢者までが楽しめる「集いの空間」
- ②徳島の木をまるごと感じる「体験の空間」
- ③木の恩恵、木の知識、木の文化を知る「学びの空間」
- ④子どもたちの感性・創造力を育む「遊びの空間」
- ⑤徳島を魅せる「にぎわい発信の空間」

2 施設の内容・機能

【ハード面】

- ・徳島すぎをはじめ県産材をふんだんに使用
- ・防災機能、5G、Wi-Fi環境を装備
- ・洗練された木のおもちゃ、木製品、伝統工芸品などを配備

【ソフト面】

- ・徳島の木の良さや、木がもたらす文化や伝統を体感
- ・VRや3D画像による林業や大工などの職業や住環境体験
- ・県内の木育関連施設や姉妹美術館と連携した企画・展示、魅力発信
- ・木の知識、遊び、技術を伝える幅広い方々が活躍

3 整備場所

「あすたむらんど徳島 四季彩館」

【選定理由】

- ・県有の既存ストックの有効活用
- ・津波浸水に対する安全・安心の確保
- ・交通アクセスと広大な駐車場を有する高い利便性